

市民学校

短歌入門講座に参加して

末広町 館田 レイ子

万葉から現代短歌に至るまで入門の我々が望み通りに学ぶには余りにも時間が少なすぎた。しかしこうした我々にふさわしい講師の熱心な指導方に時間の限り学び得たことは、やはり目的をひとつもって集った1人ひとりの心意気と、先生との一貫した結びつきによるものと思えました。

推考の仕方、添削指導による我々の作品内容の充実化など専門的な知識を教えていただけるといふことは、市民学校の唯一の良さではないかと思えます。



乳幼児期の教育は主として両親が家庭で実施している。親が子どもへの教育を十分に行うための知識、技術、態度について学習することである。(写真は離乳食講習会—十二所公民館で)



戸外において主体的に遊ぶ場がきわめて少なくなり、体力の発達も妨げている子どもの遊び場の確保と管理は緊急の課題である。以上のことから幼稚園や保育園の占める割合は大きくなっている。(城南保育園で)



スポーツ少年団は、体育の技能的な向上ばかりでなく集団としての規律ある生活のなかで、大自然に親しむ野外生活の重要性も学ばせてくれる。(写真は十和田湖の沢キャンプ場)

社会人としての我々は、文学や勉強にいそむことは容易なことではありません。がむしやりに詠むことだけでなく、日常生活の中で自ら三十一文字に託すといふことは、やはり素晴らしいことだと思えます。せちがら現代をより楽しく生きるため、そして現世の荒波をのりこえて生活に潤いをもとると私はこの講座を選びました。最少限度の教養を得て、よりよい現代人となるべく努力は、やはり「学ぶ」の一言に尽きるものと思えます。生徒1人ひとりが目をかがやかせ、講義を聞きながら一心にペンを動かす若男女のその素晴らしい光景を数カ月過ぎた今も私の脳裡から離れません。「働きながら学ぶ」この精神を持続して、これからも大いに市民学校に学びたいと念じてやみません。欲をいえば、より多くの講座に参加したいと思いつつ日程がかさなってそれができず残念至極でした。

期間が少し長びく様なことになってもより多くの市民が、より多くの講座に参加できるよう、今後の御検討をお願いする次第です。



こども会活動は、地域での健全育成運動として、奨励されている。全地域の実態を調査して、連絡協議会や世話人会研修がもたれなければならない。(写真は清水川こども会)



少年は仲間を求め、集団で活動することを欲する傾向が強く、集団活動の中でその一員としていろいろな知識、技能および態度を体験的に修得している。(ボーイスカウト花岡隊、野外訓練の1コマ)

社会的生涯教育計画の課題

< 幼児期の発達課題 >

- 1 歩行の学習(生後9ヶ月~15月)
- 2 固形の食物をとることの学習
- 3 話すことの学習
- 4 排泄の仕方を学ぶこと(最初の道徳的なしつけ)
- 5 性の相違を知り性に対する慎しみを学ぶこと
- 6 生理的安定をえること(5歳位)
- 7 社会や事物についての単純な概念を形成すること
- 8 両親や兄弟姉妹や他人と情緒的に結びつくこと
- 9 善悪を区別することの学習と良心を発達させること

- 9 社会的に責任のある行動を求め、そしてそれをなしとげること
- 10 行動の指針としての価値や倫理の体系を学ぶこと

< 青年後期の発達課題 >

(18~30歳位)

- 1 配偶者を選ぶこと
- 2 配偶者との生活を学ぶこと
- 3 第1子を家族に加えること
- 4 子どもを育てること
- 5 家庭を管理すること
- 6 職業に就くこと
- 7 市民的责任を負うこと
- 8 適した社会集団を見つけること

< 児童期の発達課題 >

- 1 普通の遊戯に必要な身体的技能の学習
- 2 成長する生活体としての自己に対する健全な態度を養うこと
- 3 友だちと仲よくすること
- 4 男子としてまた女子としての社会的役割を学ぶこと
- 5 読み書き計算の基礎的能力を発達させること
- 6 日常生活に必要な概念を発達させること
- 7 良心・道徳性、価値判断の尺度を発達させること
- 8 人格の独立を達成すること
- 9 社会の諸機関や諸団体にたいする社会的態度を発達させること

< 中年期の発達課題 >

(30~55歳位)

- 1 おとなとしての市民的、社会的責任を達成すること
- 2 一定の経済的生活水準を築きそれを維持すること
- 3 十代の子どもたちが信頼できる幸福なおとなになれるよう助けること
- 4 おとなの余暇活動を充実すること
- 5 自分と配偶者とは人間として結びつくこと
- 6 中年期の生理的变化を受け入れ、それに適応すること
- 7 年老いた両親に適応すること

< 高令期の発達課題 >

- 1 肉体的な力と健康の衰退に適応すること
- 2 隠退と収入の減少に適応すること
- 3 配偶者の死に適応すること
- 4 自分の年ごろの人々と明るい親密な関係を結ぶこと
- 5 社会的、市民的義務を引き受けること
- 6 肉体的な生活を満足におくれるように準備すること(高令者が求める生活価値の主なものとしては、①静寂、②隠居、③行動の自由、④親類および友人との親交、⑤自分の文化的グループにとどまること、⑥廉価、⑦交通機関、図書館商店、映画館等の諸施設に近いこと)

< 青年期の発達課題 >

- 1 同年令の男女との洗練された新しい交際を学ぶこと
- 2 男性としてまた女性としての社会的役割を学ぶこと
- 3 自分の身体の構造を理解し身体を有効に使うこと
- 4 両親や他のおとなから情緒的に独立すること
- 5 経済的な独立について自信をもつこと
- 6 職業を選択し準備すること
- 7 結婚と家庭生活の準備をすること
- 8 市民としての必要な知識と態度を発達させること



勤労青少年グループサークルなどの仲間づくりをすすめて、青年同志の連帯感の育成をはかり、自主的に学習活動を展開するための機会と場が提供されなければなりません。(商工ゼミナール、スキーレク、八幡平ブナ森スキー場で)



高令期にふさわしい社会的能力を養い自主的な生活を続け、世代の隔絶の中をせばめ、生きがいのある生活をおくることをねらいとして、高令者自身による社会適応のための学習(老壮大学)



子どもを健全に育て、将来よりよい社会人にするため、親として家庭における子どもの指導のしかたを身につけるとともに、親自身の態度やあり方も学習する(矢立地区家庭教育学級—白沢幼稚園)



健康で楽しく明るい毎日を。美容体操フォークダンス、etc.....汗を流しさわやかな気分がいつまでも若々しく。(おかあさんの健康教室、市民体育館で)

ママさん健康教室に参加して

泉町 斎藤 芳子

毎週1回の健康教室を楽しみにしている1人です。自分の健康は自分の手で、できる限り出席して早や5年になりました。

毎週顔なじみの主婦達で軽快な笛に合わせた美容体操、フォークダンス等々、無理をせず自分の体に合せて一生懸命です。ひと汗流し、さわやかな気分が来週の予定を話し合える時も楽しいひとときです。

この頃私の友達の中で、運動不足のためか、体型を気にしたり、体の不調をいう人もおられます。私は健康教室の事を話してさそっています。

出席している人々の間から、これからいつまでもこの教室を続けてほしいとの声がたくさんあります。

私も健康保持のため、私の生涯教育の1つとして、今後も休まず出席したいと思っております。